低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(仮設材含む)の低減	盛り土材：過去に取引実績もあり、本工事の別工種でも取引している者からの購入。
2	労務費の低減	
3	機械経費の低減	
4	新材料・新技術	
5	作業効率の向上	
⑥	下請業者の協力	同種工事の経験もあり、年間契約をしている下請け業者の協力。
⑦	経費の低減	倉庫や会社が施工場所と近距離。地域特性を熟知。
8	現場管理費低減	
9	安全資機材低減	
10	本支店経費の低減	
⑪	利益の低減	最小限の利益確保。
⑫	受注実績の取得	経営方針として官庁営業に重点を置いた受注実績づくり。
13	売上の確保	
14	その他	

比較表－1

積 算 内 訳 書 の 比 較 表

記 入 要 領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工 事 名	鶴 甲 宿 舎 等 解 体 撤 去 工 事

工事区分・工種・種別	単位	入 札 時					工 事 完 成 時					備 考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/官積(%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/官積(%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
宿舎解体撤去	式	1	8,211,128	1	5,100,000	62.1%	1	4,956,521	1	8,802,128	56.3%	
付属棟解体撤去	式	1	345,844	1	250,000	72.3%	1	251,288	1	345,844	72.7%	
外構・植栽解体撤去	式	1	1,007,760	1	670,000	66.5%	1	672,192	1	1,007,760	66.7%	
電気設備解体撤去	式	1	840,570	1	142,000	16.9%	1	143,220	1	840,570	17.0%	
機械設備解体撤去	式	1	1,460,690	1	250,000	17.1%	1	250,779	1	1,460,690	17.2%	
発生材処理	式	1	4,134,000	1	2,270,000	54.9%	1	1,687,000	1	4,134,000	40.8%	
直接工事費計	式	1	15,999,992	1	8,682,000	54.3%	1	7,961,000	1	16,590,992	48.0%	
共通仮設費												
共通仮設費	式	1	1,646,624	1	2,518,000	152.9%	1	1,256,000	1	1,202,688	104.4%	
純工事費	式	1	17,646,616	1	11,200,000	63.5%	1	9,217,000	1	17,793,680	51.8%	
現場管理費	式	1	456,501	1	1,100,000	241.0%	1	1,994,000	1	414,252	481.3%	
工事原価	式	1	18,103,117	1	12,300,000	67.9%	1	11,211,000	1	18,207,932	61.6%	
一般管理費等	式	1	1,934,866	1	600,000	31.0%	1	1,759,000	1	1,945,599	90.4%	
工事価格	式	1	20,037,983	1	12,900,000	64.4%	1	12,970,000	1	20,153,531	64.4%	

比較表2-1

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
宿舎解体撤去工事				**8,211,128**			**5,100,000**			**4,956,521**			**8,802,128**	完成時元請け金額は実績に合わせて計上する
直接仮設														
外部足場	m2	953		1,487,000	953	1,000	953,000	953	784	747,152	953		1,487,000	
垂直養生	m2	953		2,030,000	953	500	476,500	953	392	373,576	953		2,030,000	官積算は元請けの実績項目に、合わせて計上する
安全手摺	m	101		36,400	101	1,600	161,600	101	1,247	125,947	101		36,400	
内部足場	m2	799		191,800	799	100	79,900	799	100	79,900	799		191,800	
仮設材運搬	式	1		342,000	1	129,000	129,000	0	0	0				共通仮設費に計上
仮囲・ゲート	式				0	0	0	1	451,325	451,325	1		583,100	当初は共通仮設費に計上
宿　舎														
コンクリート取り壊し	m3	68.4	7,920	541,728	68.4	6,400	437,760	68.4	6,421	439,196	68.4	7,920	541,728	基礎
コンクリート取り壊し	m3	464	5,280	2,449,920	464	5,000	2,320,000	464	5,016	2,327,424	464	5,280	2,449,920	地上部
鉄筋切断	m3	450	440	198,000	450	200	90,000	450	200	90,000	450	440	198,000	
ブロック類取り壊し	m2	1.7	11,400	19,380	1.7	500	850	1.7	501	851	1.7	11,400	19,380	
外部仕上材取り壊し	式	1		147,400	1	70,000	70,000	1	70,250	70,250	1		147,400	
外部建具類取り壊し	式	1		80,600	1	60,000	60,000	1	60,200	60,200	1		80,600	
内部仕上材取り壊し	式	1		561,800	1	140,000	140,000	1	140,500	140,500	1		991,100	
内部建具類取り壊し	式	1		45,700	1	50,000	50,000	1	50,200	50,200	1		45,700	
取り壊し機械運搬	式	1		79,400	1	131,390	131,390	0	0	0	0	0	0	共通仮設費に計上

比較表2-2

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
付属棟解体撤去				**345,844**			**250,000**			**251,288**			**345,844**	
ポンプ室取り壊し														
コンクリート取り壊し	m3	3.6	7,920	28,512	3.6	6,372	22,939	3.6	6,393	23,014	3.6	7,920	28,512	基礎
コンクリート取り壊し	m3	4.7	5,280	24,816	4.7	5,008	23,537	4.7	5,025	23,617	4.7	5,280	24,816	地上部
鉄筋切断	m3	6.4	440	2,816	6.4	273	1,747	6.4	273	1,747	6.4	440	2,816	
ブロック類取り壊し	式	1		29,800	1	7,000	7,000	1	7,050	7,050	1		29,800	
建具類取り壊し	式	1		1,300	1	777	777	1	780	780	1		1,300	
物置取り壊し														
コンクリート取り壊し	m3	5	5,280	26,400	5	5,000	25,000	5	5,016	25,080	5	5,280	26,400	地上部
外部仕上材取り壊し	式	1		232,200	1	169,000	169,000	1	170,000	170,000	1		232,200	
外構・植栽解体撤去				**1,007,760**			**670,000**			**672,192**			**1,007,760**	
外構														
コンクリート取り壊し	**m3**	**19.6**	5,280	103,488	**19.6**	**5,000**	98,000	**19.6**	5,016	98,313	**19.6**	5,280	103,488	
飾り輪	**m**	**9.4**	400	3,760	**9.4**	**300**	2,820	**9.4**	301	2,829	**9.4**	400	3,760	
縁石	**m**	**86.1**	120	10,332	**86.1**	**100**	8,610	**86.1**	100	8,610	**86.1**	120	10,332	
手摺フェンス	**m**	**10.6**	800	8,480	**10.6**	**500**	5,300	**10.6**	501	5,310	**10.6**	800	8,480	
盛り土　A種	**m3**	**185**	4,400	814,000	**185**	**2,700**	499,500	**185**	2,700	499,500	**185**	4,400	814,000	

比較表2-3

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
植栽				0										
伐採抜根	本	1	1,870	1,870	1	1,800	1,800	1	1,895	1,895	1	1,870	1,870	
伐採抜根	本	2	4,020	8,040	2	2,700	5,400	2	2,790	5,580	2	4,020	8,040	
伐採抜根	本	2	7,600	15,200	2	5,400	10,800	2	5,580	11,160	2	7,600	15,200	
伐採抜根	本	3	11,700	35,100	3	8,390	25,170	3	8,670	26,010	3	11,700	35,100	
下草伐採	ｱｰﾙ	3.5	2,140	7,490	3.5	3,600	12,600	3.5	3,710	12,985	3.5	2,140	7,490	
電気設備解体撤去				840,570			142,000			143,220			840,570	
電灯設備														
電灯幹線設備														
開閉器盤	面	1	3,830	3,830	1	250	250	1	260	260	1	3,830	3,830	
開閉器盤	面	1	5,630	5,630	1	250	250	1	260	260	1	5,630	5,630	
各戸分電盤	面	12	2,280	27,360	12	150	1,800	12	160	1,920	12	2,280	27,360	
電線類	式	1		20,200	1	4,500	4,500	1	4,600	4,600	1		20,200	
電線管類	式	1		17,200	1	900	900	1	910	910	1		17,200	
ボックス類	式	1		7,800	1	2,500	2,500	1	2,550	2,550	1		7,800	
住戸電灯分岐設備														
蛍光灯	個	12	910	10,920	12	180	2,160	12	190	2,280	12	910	10,920	FL20W*2
蛍光灯	個	12	1,680	20,160	12	350	4,200	12	350	4,200	12	1,680	20,160	FL20W*4

比較表2-4

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
白熱灯	個	24	840	20,160	24	90	2,160	24	90	2,160	24	840	20,160	ｼｰﾘﾝｸﾞ
白熱灯	個	12	720	8,640	12	130	1,560	12	130	1,560	12	720	8,640	ﾌﾞﾗｹｯﾄ
蛍光灯	個	12	620	7,440	12	90	1,080	12	90	1,080	12	620	7,440	FL10W*1
蛍光灯	個	12	1,390	16,680	12	450	5,400	12	450	5,400	12	1,390	16,680	FL40W*1
蛍光灯	個	24	1,720	41,280	24	600	14,400	24	600	14,400	24	1,720	41,280	FL40W*2
電線類	式	1		63,600	1	18,000	18,000	1	18,100	18,100	1		63,600	
電線管類	式	1		135,200	1	13,000	13,000	1	13,100	13,100	1		135,200	
ボックス類	式	1		93,200	1	11,000	11,000	1	11,050	11,050	1		93,200	
電線機具類	式	1		56,800	1	2,700	2,700	1	2,710	2,710	1		56,800	
共用電灯分岐設備														
蛍光灯	個	2	980	1,960	2	365	730	2	370	740	2	980	1,960	FL32/45W*1
白熱灯	個	6	840	5,040	6	273	1,638	6	275	1,650	6	840	5,040	ｼｰﾘﾝｸﾞ
水銀灯	個	3	8,170	24,510	3	728	2,184	3	730	2,190	3	8,170	24,510	100W*1
共用分電盤	面	1	2,280	2,280	1	273	273	1	275	275	1	2,280	2,280	
電線類	式	1		6,300	1	2,731	2,731	1	2,750	2,750	1		6,300	
電線管類	式	1		12,000	1	1,093	1,093	1	1,100	1,100	1		12,000	
ボックス類	式	1		6,300	1	819	819	1	820	820	1		6,300	
配線機具類	式	1		2,900	1	182	182	1	185	185	1		2,900	

比較表2-5

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
動力設備														
動力制御盤	面	1	12,900	12,900	1	450	450	1	460	460	1	12,900	12,900	
電線類	式	1		4,800	1	2,200	2,200	1	2,300	2,300	1		4,800	
電線管類	式	1		7,200	1	700	700	1	700	700	1		7,200	
位置ボックス	個	1	370	370	1	90	90	1	90	90	1	370	370	
電話配管設備														
端子盤	面	1	9,250	9,250	1	180	180	1	180	180	1	9,250	9,250	10P
端子盤	面	1	3,450	3,450	1	270	270	1	270	270	1	3,450	3,450	20P
電線類	式	1		300	1	100	100	1	100	100	1		300	
電線管類	式	1		26,800	1	2,100	2,100	1	2,110	2,110	1		26,800	
ボックス類	式	1		11,500	1	800	800	1	810	810	1		11,500	
配線機具類	式	1		1,600	1	360	360	1	360	360	1		1,600	
テレビ共同受信設備														
テレビアンテナ	組	1	10,800	10,800	1	1,300	1,300	1	1,310	1,310	1	10,800	10,800	
アンテナ架台	基	1	7,630	7,630	1	900	900	1	910	910	1	7,630	7,630	
増幅器	個	1	6,170	6,170	1	180	180	1	180	180	1	6,170	6,170	
分配器	個	5	1,290	6,450	5	900	4,500	5	910	4,550	5	1,290	6,450	
直列ユニット	個	12	730	8,760	12	1,000	12,000	12	1,010	12,120	12	730	8,760	

比較表2-6

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
機器収納箱	個	4	1,960	7,840	4	1,000	4,000	4	1,010	4,040	4	1,960	7,840	
ケーブル類	式	1		17,500	1	3,000	3,000	1	3,010	3,010	1		17,500	
電線管類	式	1		35,600	1	2,900	2,900	1	2,910	2,910	1		35,600	
ボックス類	式	1		4,400	1	500	500	1	510	510	1		4,400	
非常警報設備														
非常ベル	個	6	670	4,020	6	180	1,080	6	190	1,140	6	670	4,020	
押釦	個	12	290	3,480	12	90	1,080	12	90	1,080	12	290	3,480	
電線類	式	1		7,300	1	5,180	5,180	1	5,200	5,200	1		7,300	
電線管類	式	1		18,400	1	1,900	1,900	1	1,910	1,910	1		18,400	
位置ボックス	個	18	370	6,660	18	40	720	18	40	720	18	370	6,660	
機械設備解体撤去				**1,460,690**			**250,000**			**250,779**			**1,460,690**	
衛生器具設備														
洋風便器	組	12	8,180	98,160	12	1,400	16,800	12	1,410	16,920	12	8,180	98,160	
洗面器	組	12	3,620	43,440	12	900	10,800	12	910	10,920	12	3,620	43,440	
給水設備														
給水管 樹脂管40	m	43	370	15,910	43	100	4,300	43	100	4,300	43	370	15,910	地中
給水管 樹脂管20	m	25	220	5,500	25	70	1,750	25	70	1,750	25	220	5,500	地中
給水管 鋼管40A	m	26	640	16,640	26	100	2,600	26	100	2,600	26	640	16,640	地中
給水管 鋼管50A	m	20	1,070	21,400	20	110	2,200	20	110	2,200	20	1,070	21,400	屋内

比較表2-7

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
給水管 鋼管40A	m	38	850	32,300	38	100	3,800	38	100	3,800	38	850	32,300	屋内
給水管 鋼管20A	m	234	510	119,340	234	70	16,380	234	70	16,380	234	510	119,340	屋内
給水管 鋼管40A	m	12	1,020	12,240	12	100	1,200	12	100	1,200	12	1,020	12,240	機械室
水栓 φ13	個	24	360	8,640	24	140	3,360	24	140	3,360	24	360	8,640	
量水器 20㎜	個	12	1,240	14,880	12	190	2,280	12	190	2,280	12	1,240	14,880	
高架水槽 FRP製	基	1	12,400	12,400	1	14,000	14,000	1	14,050	14,050	1	12,400	12,400	3M3
揚水ポンプ 1.5kw	台	2	8,140	16,280	2	2,700	5,400	2	2,710	5,420	2	8,140	16,280	渦巻き型
根切り埋戻し	式	1		94,200	1	10,000	10,000	1	10,100	10,100	1		94,200	
保温材	式	1		99,400	1	9,000	9,000	1	9,050	9,050	1		99,400	
給湯設備 ｶﾞｽﾎﾞｲﾗｰ	組	12	7,930	95,160	12	1,000	12,000	12	1,005	12,060	12	7,930	95,160	浴槽700*800共
排水設備														
排水管 陶管100	m	23	890	20,470	23	190	4,370	23	190	4,370	23	890	20,470	地中
排水管 陶管125	m	24	1,090	26,160	24	230	5,520	24	230	5,520	24	1,090	26,160	地中
排水管 陶管150	m	8	1,280	10,240	8	280	2,240	8	280	2,240	8	1,280	10,240	地中
排水管 HP125	m	19	1,090	20,710	19	190	3,610	19	190	3,610	19	1,090	20,710	地中
排水管 HP150	m	11	1,280	14,080	11	230	2,530	11	230	2,530	11	1,280	14,080	地中
排水管 樹脂管40	m	12	520	6,240	12	100	1,200	12	100	1,200	12	520	6,240	屋内
排水管 樹脂管50	m	41	660	27,060	41	100	4,100	41	100	4,100	41	660	27,060	屋内
排水管 樹脂管75	m	28	980	27,440	28	140	3,920	28	140	3,920	28	980	27,440	屋内

比較表2-8

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
排水管 樹脂管100	m	10	1,260	12,600	10	190	1,900	10	190	1,900	10	1,260	12,600	屋内
排水管 鋼管40A	m	26	850	22,100	26	100	2,600	26	100	2,600	26	850	22,100	屋内
排水管 鋼管50A	m	46	1,070	49,220	46	110	5,060	46	110	5,060	46	1,070	49,220	屋内
排水管 鋼管65A	m	34	1,400	47,600	34	130	4,420	34	130	4,420	34	1,400	47,600	屋内
排水管 鋳鉄管75	m	38	2,620	99,560	38	140	5,320	38	140	5,320	38	2,620	99,560	屋内
排水管 鋼管50A	m	2	960	1,920	2	110	220	2	110	220	2	960	1,920	屋外架空
排水金物 50A	個	12	1,340	16,080	12	50	600	12	50	600	12	1,340	16,080	床排水金物
通気金物	個	12	770	9,240	12	70	840	12	70	840	12	770	9,240	
桝類	式	1		20,400	1	27,700	27,700	1	27,800	27,800	1		20,400	
根切り埋戻し	式	1		92,400	1	19,000	19,000	1	19,119	19,119	1		92,400	
保温材	式	1		61,700	1	9,110	9,110	1	9,150	9,150	1		61,700	
ガス設備														
ガス管 鋼管50A	m	41	750	30,750	41	120	4,920	41	120	4,920	41	750	30,750	地中
ガス管 鋼管32A	m	28	550	15,400	28	80	2,240	28	80	2,240	28	550	15,400	地中
ガス管 鋼管40A	m	16	850	13,600	16	100	1,600	16	100	1,600	16	850	13,600	屋内
ガス管 鋼管20A	m	173	510	88,230	173	70	12,110	173	70	12,110	173	510	88,230	屋内
ガスコック類 水栓13φ	個	60	360	21,600	60	150	9,000	60	150	9,000	60	360	21,600	

比較表2-9

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
発生材処理費				**4,134,000**			**2,270,000**			**1,687,000**			**4,134,000**	
発生材運搬	式	1		2,159,000	1	740,000	740,000	0	0	0	0	0	0	運搬処分一括計上
発生材処分	式	1		1,975,000	1	1,530,000	1,530,000	1	1,687,000	1,687,000	1		4,134,000	
共通仮設費				**1,646,624**			**2,518,000**			**1,256,000**			**1,202,688**	
率による計上				126,224									130,088	
仮囲い 77.5m	式	1		351,100	1	500,000	500,000							直接工事費に計上
仮設敷鉄板 194m2	式	1		360,100	1	180,000	180,000			0	0		0	
出入り口設備	式	1		152,000	1	120,000	120,000							直接工事費に計上
フェンス 取壊し復旧	箇所	1		80,000	1	100,000	100,000							直接工事費に計上
取り壊し機械運搬	式							1	225,000	225,000	1		79,400	当初は直接工事費に計上
仮設材運搬費	式							1	315,000	315,000	1		342,000	当初は直接工事費に計上
労働者送迎費	式							1	113,000	113,000				追記
交通誘導員	式	1		577,200	1	663,000	663,000	1	537,000	537,000	1		651,200	
仮設水費 工事費	式				1	250,000	250,000			0				
仮設水費 使用量	式				1	300,000	300,000			0				約800m3
ガス配管パージ料	式				1	250,000	250,000			0				
工事用看板	式				1	15,000	15,000	1	16,000	16,000				
仮設トイレ	式				1	50,000	50,000	1	50,000	50,000				
片付け・清掃費	式				1	90,000	90,000	0		0				

比較表2-10

内訳書に対する明細書の比較表

記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
現場管理費				456,501			**1,100,000**			**1,994,000**			414,252	
現場員給与					2	400,000	800,000	1	1,243,000	1,243,000				
法定福利費					2	50,000	100,000	1	281,000	281,000				
租税公課					1	20,000	20,000	1	64,000	64,000				
保険料					1	140,000	140,000	1	58,000	58,000				
事務用品・通信交通費					2	20,000	40,000	1	6,000	6,000				
労務管理費								1	69,000	69,000				
外注経費								1	273,000	273,000				
一般管理費				1,934,866			**600,000**			**1,759,000**			1,945,599	
労務管理費	式				1	350,000	350,000	1	1,023,000	1,023,000				
法定福利費	式				1	100,000	100,000	1	295,000	295,000				
福利厚生費	式				1	50,000	50,000	1	147,000	147,000				
維持修繕費	式				1	20,000	20,000	1	59,000	59,000				
事務用品費	式				1	20,000	20,000	1	59,000	59,000				
通信交通費	式				1	10,000	10,000	1	29,000	29,000				
保険料	式				1	50,000	50,000	1	147,000	147,000				

比較表－3

手持ち資材の比較表（主要資材）

記入要領	1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時（当初の予定）				工事完成時（実績）				官単価※（最終）	備考
				手持ち数量	単価	本工事での使用予定量	不足数量の手当方法	手持ち数量	単価	本工事での使用量	不足数量の手当方法		
フェンスバリケード	1800*1800	枚	仮設	50	0	20	リース品にて	50	0	2		－	官単価では率に含まれる
カラーコーン	Cコーン	個	仮設	60	0	15	リース品にて	60	0	10		－	
コーンベット	CB-2	個	仮設	60	0	15	リース品にて	60	0	10		－	
コーンバー	φ34*1800	本	仮設	60	0	15	リース品にて	60	0	9		－	
脚立	8尺	脚	解体	20	0	10	リース品にて	20	0	0		－	
脚立	6尺	脚	解体	30	0	30	リース品にて	30	0	1		－	
脚立	4尺	脚	解体	30	0	20	リース品にて	30	0	2		－	
足場板	杉板 4m	枚	解体	50	0	30	リース品にて	50	0	0		－	
足場板	杉板 2m	枚	解体	30	0	10	リース品にて	30	0	0		－	

比較表－4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

記入要領	1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。 6) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事													
工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名				
					業者名	所在地	入札者との関係			業者名	所在地	入札者との関係		
埋戻し工	山砂	m3	185	2,700	環境管理サービス	神戸市北区	協力業者	185	2,700	瑞山建材	神戸市北区	協力業者	4,400	

比較表－5

手持ち機械の比較表（主要機械）

記入要領	1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約0.3%以上の機器)のみでよい。 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事										
機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時（当初の予定）				工事完成時（実績）			官単価※（最終）	備考
			数量	単価	メーカ名	現在の利用状況	数量	単価	メーカ名		
バックホウ	0.8m3・SK210LE・114KW・2005年式	台	1	0	コベルコ建機	ヤードにて待機	1	0	KOMATSU	－	PC-228 0.7m3
バックホウ	0.8m3・SK200・114KW・2004年式	台	1	0	コベルコ建機	ヤードにて待機	1	0	KOMATSU	－	PC-228 0.7m3

比較表－6

労務者の確保計画の比較表

記入要領	1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は( )なしで記入する。 ・自社労務者は( )内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事								
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
解体撤去工事	主任技術者 (解体)				20,000	3	㈱ﾃﾞｸﾞﾁｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	17,800	土木一般世話役
		(　　)	(　　)		(　　)	(　　)	協力業者		
解体撤去工事	現場担当者 (解体)				18,000	29	㈱ﾃﾞｸﾞﾁｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	15,200	特殊作業員
		(　　)	(　　)		(　　)	(　　)	協力業者		
解体撤去工事	オペレーター (解体)				18,000	50	(株)サクラ建設	15,700	運転手(特殊)
		(　　)	(　　)		(　　)	(　　)	協力業者		
解体撤去工事	普通作業員 (解体)	13,000	240	㈱ﾃﾞｸﾞﾁｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	15,000	73	(株)サクラ建設	13,200	普通作業員
		(　　)	(　　)	協力業者	(　　)	(　　)	協力業者		
仮設工事	仮設足場(鳶工)	18,000	50	㈱大和	15,000	41	(株)大鵬	16,200	とび工
		(　　)	(　　)	協力業者	(　　)	(　　)	協力業者		
共通仮設工事	警備員	8,500	78	扶桑警備保障㈱	8,500	74	扶桑警備保障㈱	7,400	交通誘導員B
		(　　)	(　　)	協力業者	(　　)	(　　)	協力業者		

比較表－7

工種別労務者配置計画の比較表

記入要領	1) 職種名は例示したものなので、該当する職種名に変更して記入して下さい。 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事

工種	種別	入札時（当初の予定）						工事完成時（実績）						備考
		配置予定人数					計	配置人数					計	
		世話役	普通作業員（特殊含）	配管工	電工	オペ		世話役	普通作業員（特殊含）	配管工	電工	オペ		
解体撤去工事	解体工	1	3			3	7	1	3			2	6	
仮設工事	鳶工		4				4		4				4	
共通仮設工事	警備員		2				2		3				3	

比較表－8

建設副産物の搬出等の比較表

記入要領	1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみに要した価格を記入してください(収集、運搬等に要した費用を除く)。 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。					
工事名	鶴甲宿舎等解体撤去工事					
建設副産物の名称	入札時(当初の予定)		工事完成時(実績)		官積算価格※ (最終)	備考
	受け入れ予定箇所	受け入れ価格	受け入れた箇所	受け入れた価格		
コンクリートがら	㈱瑞山建材	2,000円／m3	㈱瑞山建材	2,000円／m3	1,120円／t	官換算2,016円／m3
アスファルト・コンクリートがら	㈱瑞山建材	2,500円／m3				
木くず	㈱神戸ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	10,000円／t	㈱神戸ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	10,000円／t	12,000円／t	
混合廃棄物	㈱瑞山建材	7,000円／m3	㈱瑞山建材	7,000円／m3	－	
(ガラス・陶器類)				－	6,600円／t	
(廃プラスチック)				－	9,500円／t	
(金属くず)				－	6,600円／t	
樹木、草木	三田チップ(株)	10,000円／t	㈲八尾園芸資材	15,000円／t	12,000円／t	
アスベスト含有成形板	㈱環境保全ｾﾝﾀｰ	25,000円／t	㈱環境保全ｾﾝﾀｰ	25,000円／t	13,700円／t	

工事費　　注1）消費税抜きで記入してください。

注2）下請者の工事費内訳は一次下請調査票『B-2票』シートの総合計欄（赤枠）の金額を転記してください。

Ⅲ 工事費内訳

金額単位：千円

費　目	元請+元請外注	元　請	元請外注合計	1 ㈱デグチコーポレーション 解体撤去工事	2 扶桑警備保障㈱ 警備
① 直接工事費	7,961	118	7,843	7,843	0
(1) 材料費	628	8	620	620	0
(2) 労務費	2,610	0	2,610	2,610	0
(3) 機械機具等損料	2,861	14	2,847	2,847	0
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	0	0	0	0	0
(5) 直接経費	0	0	0	0	0
イ 特許使用料	0	0	0	0	0
ロ 光熱電力使用料	0	0	0	0	0
(6) 特殊経費	1,862	96	1,766	1,766	0
イ 処分費	1,687	0	1,687	1,687	0
ロ 上・下水道料金	96	96	0	0	0
ハ 有料道路利用料	79	0	79	79	0
② 間接工事費	3,250	1,285	1,965	1,357	608
(1) 共通仮設費	1,256	66	1,190	653	537
イ 運搬費	590	50	540	540	0
A 機器材	365	50	315	315	0
1) 仮設材①	315	0	315	315	0
2) 仮設材②	0	0	0	0	0
3) 仮設材③	0	0	0	0	0
4) 敷鉄板①	0	0	0	0	0
5) 敷鉄板②	0	0	0	0	0
6) 敷鉄板③	0	0	0	0	0
7) 敷鉄板④	0	0	0	0	0
8) 橋梁等架設支保工	0	0	0	0	0
9) 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0	0
10) 橋梁用架設桁設備	0	0	0	0	0
11) 積み込み取り卸し費	0	0	0	0	0
12) トンネル用スライドセントル	0	0	0	0	0
13) その他①	0	0	0	0	0
14) その他②	50	50	0	0	0
B 建設機械Ⅰ	225	0	225	225	0
1) 貨物自動車等 による運搬	99	0	99	99	0
2) 自走 による運搬	0	0	0	0	0
3) 日々回送による運搬	126	0	126	126	0
4) 現場内小運搬	0	0	0	0	0
C 建設機械Ⅱ	0	0	0	0	0
1) 貨物自動車等 による運搬	0	0	0	0	0
2) 自走 による運搬	0	0	0	0	0
3) 現場内小運搬（内分解組立費）	0	0	0	0	0
ロ 準備費	0	0	0	0	0
A 準備・測量等	0	0	0	0	0
B その他	0	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0	0	0
ニ 安全費	553	16	537	0	537
安全留意度「建設工事公衆災害防止対策要綱」について選択		2 通常の安全対策			
A 安全管理費	16	16	0	0	0
1) 工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用（稼働日の保安要員等の費用を含む）	0	0	0	0	0
2) 不稼働日の保安要員等の費用	0	0	0	0	0
3) 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料	16	16	0	0	0
4) 夜間作業を行う場合における照明に要した費用	0	0	0	0	0
5) 酸素欠乏症の予防に要した費用	0	0	0	0	0
6) 河川、海岸工事における救命艇に要した費用	0	0	0	0	0
7) 粉塵作業の予防に要した費用	0	0	0	0	0
8) 長大トンネル等における防火安全対策に要した費用	0	0	0	0	0
9) 安全用品等の費用	0	0	0	0	0
10) 安全委員会等に要した費用	0	0	0	0	0
11) 再圧装置設置、撤去、維持管理に要した費用	0	0	0	0	0
B 交通誘導員等	537	0	537	0	537
1) 交通誘導員A	0	0	0	0	0
2) 交通誘導員B	537	0	537	0	537
C 鉄道空港安全管理	0	0	0	0	0
D 高圧作業予防	0	0	0	0	0
E 航路安全標識・警戒船	0	0	0	0	0
F ダム発破・監視費	0	0	0	0	0
G トンネル工事における呼吸用保護具	0	0	0	0	0
H 水雷・傷害保険料	0	0	0	0	0
I その他（　　）	0	0	0	0	0
ホ 役務費	0	0	0	0	0
A 土地の借上費	0	0	0	0	0
B 電力用水等基本料	0	0	0	0	0

ヘ 技術管理費	0	0	0	0	0
A 品質管理費等	0	0	0	0	0
B 特殊な品質管理	0	0	0	0	0
C 現場条件等費用	0	0	0	0	0
D 各種調査等	0	0	0	0	0
E 各種台帳等	0	0	0	0	0
F その他	0	0	0	0	0
ト 営繕費	113	0	113	113	0
A 建物費	0	0	0	0	0
B 借上費	0	0	0	0	0
C 宿泊費	0	0	0	0	0
D 労働者送迎費	113	0	113	113	0
E 監督員詰所等	0	0	0	0	0
F 労働者海上輸送費	0	0	0	0	0
G その他（　　）	0	0	0	0	0
チ イメージアップ費	0	0	0	0	0
A 仮設備関係	0	0	0	0	0
B 営繕関係	0	0	0	0	0
C 安全関係	0	0	0	0	0
E その他	0	0	0	0	0
リ 回航・えい航費	0	0	0	0	0
A 回航費	0	0	0	0	0
B えい航費	0	0	0	0	0
ヌ その他（　　）	0	0	0	0	0
(2) 補償費	0	0	0	0	0
(3) 現場管理費	1,994	1,219	775	704	71
イ 労務管理費	69	0	69	69	0
ロ 安全訓練等費用	0	0	0	0	0
A 安全・衛生に要した費用	0	0	0	0	0
B 研修訓練等に要した費用	0	0	0	0	0
ハ 租税公課	64	43	21	21	0
ニ 社員等従業員給料手当	1,243	946	297	297	0
ホ 退職金	0	0	0	0	0
ヘ 保険料	58	58	0	0	0
A 火災保険	0	0	0	0	0
B 工事保険	26	26	0	0	0
C 自動車保険	0	0	0	0	0
D 組立保険	0	0	0	0	0
E 法定外の労災保険	0	0	0	0	0
F その他損害保険	32	32	0	0	0
ト 法定福利費	281	166	115	47	68
A 労災保険料	51	11	40	5	35
B 雇用保険料	19	10	9	3	6
C 健康保険料(介護保険料含む)	91	48	43	16	27
D 厚生年金保険料(児童手当拠出金含む)	92	69	23	23	0
E 建退共制度掛金	28	28			
F 船員保険料(介護保険料含む)	0	0	0	0	0
チ 福利厚生費	0	0	0	0	0
リ 補償費	0	0	0	0	0
ヌ 通信交通費	0	0	0	0	0
ル 交際費	3	3	0	0	0
ヲ 寄付金	0	0	0	0	0
ワ 事務用品費	0	0	0	0	0
カ 動力・用水光熱費	0	0	0	0	0
ヨ 工事実績登録費	3	3			
タ その他　（工事説明会等　）	0	0	0	0	0
レ 外注経費(外注一般管理費等)	273		273	270	3
			外注経費(外注一般管理費等)の自動計算値→	270	3
(4) 機器間接費	0	0	0	0	0
イ 技術者間接費（電気通信設備工事の場合）	0	0	0	0	0
ロ 機器管理費（電気通信設備工事の場合）	0	0	0	0	0
③ 外注費		9,808			
④ 一般管理費等　自動計算値 = 1759	1,759	1,759			
⑤ 鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）	0	0	0	0	0
⑥ 別途調査等工事価格	0	0	0	0	0
⑦ 工事価格	12,970	12,970	9,808	9,200	608
			工事価格の自動計算値→	9,200	608
⑧ 消費税相当額	649	649			
⑨ 工事請負金額	13,619	13,619			

⑩ 営繕費のうち、地代に要した費用	0	0	0	0	0
⑪ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用	0	0	0	0	0

⑫ 二次下請負者の数	2		2	2	0
⑬ 二次下請負者の外注経費(外注一般管理費等)の合計	163		163	163	0
⑭ 二次下請負者への発注工事価格の合計	8,700		8,700	8,700	0

⑮ 延実人員数と作業日数					
(1) 労働者延人員	164	0	164	164	0
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	164	0	164	164	0
(3) 交通誘導員A延人員	0	0	0	0	0
(4) 交通誘導員B延人員	72	0	72	0	72
(5) 技能関係等従事者延人員	0	0	0	0	0
(6) 技術事務関係社員等従業員延人員	87	55	32	32	0
(7) 作業日数			99	70	29
(8) 延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(5)+(6)	323	55	268	196	72
(9) 従事者延べ人員(A-2票又はA-②票の入力値)	323	55	268	196	72